

全建発第17～025号
平成17年5月9日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第500回建設技術講習会(これからの公共事業のあり方)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員9万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められております。

このたびの第500回建設技術講習会では、これからの公共事業をどのように構築するのか?。これからの建設技術者のあり方、「事業評価」(成果重視の施策展開)をはじめ、説明責任の向上方策、住民等との協働、広報への取り組みなど、これからの公共事業に向けた施策の実務や展開、並びに住宅・社会資本ストックマネジメントなど最新の建設技術の動向について情報を得ることを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬具

全建発第 16 ～ 310 号
平成 17 年 1 月 4 日

(各地方協会長) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 北 橋 建 治
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成 17 年度の講習会参加について (お願い)

本会の建設技術講習会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められ、職員研修の果たすべき役割は従来にも増して重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成 17 年度の建設技術講習会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に携わる方々にとって、業務に直接役立つ講習内容としており、講師には建設行政や建設技術等の各分野において第一線で活躍の方々を迎えています。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第 500 回建設技術講習会（これからの公共事業のあり方）日程

—これからの公共事業をどのように構築するのか？ これからの建設技術者のあり方、「事業評価」(成果重視の施策展開)をはじめ、説明責任の向上策、住民等との協働、広報への取り組みなど、これからの公共事業に向けた施策の実務や展開並びに社会資本ストックマネジメントなど最新の建設技術の動向について情報を得る—

会 場.....名古屋市民会館中ホール

〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目 5 - 1 TEL 052-331-2141

1 日目 平成 1 7 年 7 月 6 日 (水)			(敬称略)
10:00 あいさつ	本会会長 愛知県知事 名古屋市長	鈴木道雄 神田真秋 松原武久	
10:20 【特別講演】 これからの建設技術者のあり方	東京大学名誉教授 工学博士	高橋 裕	
12:00			
13:00 景観創出の為にデザイン体制	東京大学大学院工学系研究科 教授 工学博士	篠原 修	
14:30			
14:40 【特別講演】 愛・地球博から考える、 社会資本の未来像	桐蔭横浜大学 教授 (造園家) (愛知万博会場演出総合プロデューサー)	涌井 雅之	
15:40			
15:50 【地域事業の紹介】 中部国際空港の整備について	中部国際空港 (株) 空港施設部 施設計画グループ長	小林 郁美	
16:20 国際博覧会アクセス道路等の整備 について	愛知県建設部道路建設課 主幹	杉村 俊治	
16:50			
2 日目 7 月 7 日 (木)			(敬称略)
9:50 住宅・社会資本の戦略的ストック マネジメントに向けて ～地域・ネットワークを単位とした 群管理技術の開発～	国土交通省国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター 建設経済研究室長 工学博士	木内 望	
10:50			
11:00 公共工事の品質確保の向上に向けて ～品質確保法の概要と品質確保を 巡る諸問題と対策～	国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術調整官	平出 純一	
12:00			
13:00 公共事業の住民 (市民) 参加の 仕組みと実際 ～合意形成と住民参加～	(財) 計量計画研究所 都市政策研究室長	矢嶋 宏光	
14:30			
14:40 21 世紀の社会資本整備の課題と展望	国土交通省大臣官房技術調査課 技術企画官	山田 邦博	
16:10			
16:10 閉会のあいさつ	愛知県建設技術協会会長 (愛知県建設部技監)		
地域の独自調査			
【現場研修】 3 日目 7 月 8 日 (金)			

会場 (名古屋市民会館) 前 (8:30 出発) → 愛知高速交通 (Linimo) 東部丘陵線整備事業 (公園西駅) (下車・説明)
→ 愛知万博整備事業 (下車・説明) ... 昼食 (各自 / 愛知万博長久手会場内)
→ 愛知青少年公園 (日本庭園・林床花園・親林楽園) 整備事業 (説明)
→ JR 名古屋駅 (16:00 着後解散) / 名古屋空港 (中部国際空港) (16:30 着後解散)

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

C P D S 学習プログラム認定講習会

第500回建設技術講習会 現場研修事業の概要

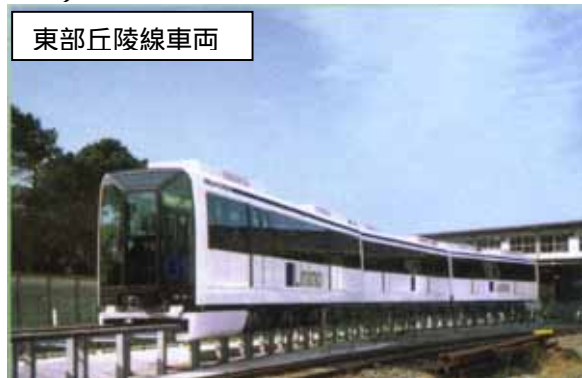
1 国際博覧会アクセス整備（東部丘陵線）..... 豊田市長久手町

名古屋市都心部から10～20kmに位置する東部丘陵地域においては、日本国際博覧会「愛・地球博」が開催されているが、この地域は、「あいち学術研究開発ゾーン」の中核的な存在として、学術研究開発の拠点を始め、居住・文化・レクリエーション機能の充実など総合的な整備を進めているところです。

また、幹線道路の慢性的な交通渋滞や、地域整備に伴う将来の交通需要に対し骨格的な交通網の整備が必要とされており、第二東名高速道路、東海環状自動車道及び名古屋環状2号線等の高規格幹線道路が整備される中、愛知県では名古屋圏の自動車専用道路網を形成する名古屋瀬戸道路、骨格的な公共交通体系を形成する新交通システムの東部丘陵線等の整備を進めました。これらは、日本国際博覧会「愛・地球博」会場への輸送手段としても、有効に活用されています。

本現場研修ではそのうち、東部丘陵線（Linimo）について、公園西駅付近で説明を行います。

東部丘陵線の一番の特徴である導入システムは、“磁力により車体を浮かせ、リニアモーターにより推進する”「磁気浮上式システム」を採用しています。このシステムとしてはわが国初の実用化路線であり、本路線は愛知万博「愛・地球博」の中心的観客輸送手段の一つとして、国内はもとより世界中の多くの方に、本システムの先進性に触れてもらえるよい機会になるものと考えています。



2 愛知青少年公園整備事業..... 長久手町

～日本庭園・林床花園・親林楽園～

愛知青少年公園は、昭和45年の開園以来、青少年の健全育成はもとより、気軽に利用できるレクリエーションの場として幅広く県民に親しまれてきました。そうした中、「自然の叡智」をテーマに、2005年日本国際博覧会（愛知万博、愛・地球博）が本公園で開催されることから、これを契機に愛知県では、新世紀にふさわしい公園として整備を行うこととなりました。整備にあたっては、平成14年度から平成18年度までの5カ年を第1期事業の施行期間としております。

博覧会開催に先立ち、博覧会会場計画と合致する「もりのゾーン（森林体感ゾーン）」の「日本庭園」などの整備を行いました。これらは愛知万博においては、豊かな緑の中に身を置き、21世紀における人と自然との新たな関係を体感する場となるものです。

本現場研修では主に、公園全体のテーマの一つでありますユニバーサルデザインを導入した園路・広場の整備などについて説明を行います。

「林床花園」では、樹林地内の林床部や林縁部に花木や草花の自生を促し、四季折々の樹林地風景を楽しめる空間づくりを行っています。車椅子でも鑑賞可能となるユニバーサルデザインを導入した整備を行い、多くの方が楽しめる整備を行っています。

「日本庭園」では、かえで池・めだか池周辺において、現況の地形を活かした本公園のシンボルとなるような魅力ある庭園空間を創造しています。ここでは、人間と自然とのかかわりや、自然そのものについて感じることでできる演出を行い、自然を介した人と人との交流空間、もてなしの場、自然観賞の場としています。

「森林楽園」では、樹林地内を中心に散策や観察、体験学習を通じて楽しみながら身近な自然にふれあう場となる空間づくりを行っています。地形や植生を活かした、環境教育プログラムの実践の場として整備を行っており、園路については、林床花園と同様にユニバーサルデザインを導入しています。



その他、会場内では、21世紀の社会資本を考える実行委員会（国土交通省中部地方整備局・日本土木工業協会）により、水のループ（水循環）や、「みんなの国づくりと、なるほど土木」を出展しています。

第 500 回建設技術講習会の宿泊幹旋のご案内

宿泊料 金：宿泊希望者には名古屋内のホテルを下記のとおり幹旋いたします。
 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
 宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
 送金先：㈱日本旅行 東京法人営業部 Tel 03(3593)0321 Fax 03(3593)0688
 〒105-0004 東京都港区新橋 2-16-1（ニュー新橋ビル9F）
 銀行口座 みずほコーポレート銀行 十五号支店
 (普)№3103576 名義 ㈱日本旅行
 お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「500」をつけ加えて下さい。
 問い合わせ先：㈱日本旅行 東京法人営業部 Tel 03(3593)0321「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 17 年 6 月 24 日(金)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 17 年 7 月 1 日(金) までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

幹旋する宿舎名、宿泊料

平成 17 年 7 月 5 日(火)・6 日(水)・7 日(木) (1 泊朝食付、サービス料・消費税含む)

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	ロイヤルパークイン名古屋	名古屋市中村区名駅 3-27-5 TEL:052-581-4411	シングル	35 名	12,000 円
B	ホテルサンルート名古屋	名古屋市中村区名駅 2-35-24 TEL: 052-571-2221		100 名	10,000 円
	サイプレスガーデンホテル	名古屋市熱田区金山町 1-9-8 TEL: 052-679-1661		20 名	10,000 円
	名古屋栄ワシントンホテルプラザ	名古屋市中区栄 3-1-32 TEL: 052-243-0410		20 名	9,700 円
C	名古屋クラウンホテル	名古屋市中区栄 1-8-33 TEL: 052-211-6633		40 名	8,500 円
	駅前モンブランホテル	名古屋市中村区名駅 3-14-1 TEL: 052-541-1121		20 名	8,500 円
	第一富士ホテル	名古屋市中村区椿町 13-17 TEL: 052-452-1111		20 名	8,500 円
	第二富士ホテル	名古屋市東区東桜 2-10-24 TEL: 052-931-1111		30 名	8,500 円
	サンハイツホテル名古屋	名古屋市中区錦 1-4-11 TEL: 052-201-6011		50 名	7,000 円
	宿泊幹旋人数合計			335 名	

宿舎が決定次第、㈱日本旅行より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

会場・宿舎案内図



社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名

印

(特別・賛助会員名)

第500回建設技術講習会（これからの公共事業のあり方）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参 加 者		勤 務 先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現 場 研 修	宿泊予約金					
(フリガナ) 氏 名 (参加者が女性の場合は番号に○囲みして下さい)	年 齢		正 会 員	非 会 員			予約日にA～Cを 記入して下さい					
							7/5	7/6	7/7			
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
聴講料						↑ 現場研修費 に昼食は、含 まれていま せん(各自)	宿泊予約金					
正会員・特別会員・賛助会員			名 × 9,800円 =							円		
" (昼食不要)			名 × 8,200円 =							円		
正会員(地元)			名 × 3,000円 =							円		
" (昼食不要)			名 × 1,400円 =							円		
正会員(地元)とは、開催県内に勤務機関(出先事務所を含む)がある正会員												
非 会 員			名 × 14,800円 =			円						
" (昼食不要)			名 × 13,200円 =			円						
現場研修料			名 × 8,000円 =			円						
昼食は、研修施設内で各自									泊 × 4,000円			
計			円						計 円			

↓ 全建に振込

↓ 日本旅行に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕

お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。

全建FAX 03 - 3586 - 6640 迄

〔聴講時の昼食について〕

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。

当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。